

まっすぐ市政改革 かじや 知宏

議員報告



地域配布版第32号(通算150号)
令和4年春発行



子育て世帯への臨時特別給付金で市に緊急要望

10万円の現金一括支給や所得制限の撤廃、妊婦さんへの給付が実現

国の子育て世帯への支援策である18歳以下の子どもを対象とした「臨時特別給付金」について、大阪維新の会枚方市議会議員団では、昨年12月9日、枚方市の伏見隆市長に対して、緊急要望書を提出しました。

「臨時特別給付金」を現金5万円とクーポン5万円分とに分割して支給するのではなく、現金10万円を一括で支給することを求めるとともに、すべての子育て世帯を支援する観点から、国の給付対象から除外されている所得制限以上の世帯や妊婦さんへの市独自の給付についても併せて要望しました。

その結果、枚方市では、年内に現金10万円が一括支給されるとともに、所得制限以上及び離婚等により



伏見市長に臨時特別給付金の要望書を提出

臨時特別給付金に関する主な要望項目

- ❖ 現金10万円を一括支給 → 実現
- ❖ 妊婦さんへの給付 → 実現
- ❖ 国の所得制限以上の世帯への給付 → 実現

国制度の給付対象外となっている子育て世帯、令和4年3月31日時点での妊娠中の妊婦の方への給付が実現することとなりました。

今後も、市民の皆さんからの声を適切かつ迅速に市へ届けることで、市民サービスの向上につなげていきます。



新型コロナウイルス対策について継続して要望

ワクチン接種体制の整備や検査体制の強化、クーポン券の配布、オンライン授業などにつなげる

新型コロナウイルスについては、この2年間にわたる自粛などの社会・経済活動の制限により、市民生活や事業活動に大きな影響を与えています。

大阪維新の会枚方市議会議員団では、この間、新型コロナウイルス対策について、市民の皆さんや各地域、各種団体から意見、要望をお聞きする機会を積極

的に設けるとともに、そこでいただいたご意見を要望書や議会での質問等を通して市に届けることで、対策の強化につなげてきました。

今後も皆さんのお声を丁寧にお聞きしながら、感染拡大の防止のみならず、市民生活や事業活動への影響を最小限に抑えるなど、市民の安心安全につながる対策を引き続き提案していきます。

新型コロナウイルス対策の強化につながった主な要望項目

- ▼高齢者、障害者施設における定期検査の実施
- ▼自宅療養者への「パルスオキシメーター」の貸し出しや定期的に健康状態を確認できる仕組みの整備
- ▼医療従事者や病床、医療・衛生物資の確保など医療提供体制の強化
- ▼ワクチン予約体制の強化
- ▼タブレット型端末を活用したオンライン授業の実施
- ▼公共施設での感染対策の強化
- ▼ワクチン接種会場の拡充
- ▼市内事業者への市独自支援(小規模事業者事業継続支援金等)の実施
- ▼1人3000円のクーポン券配布
- ▼プレミアム付商品券の発行
- ▼エッセンシャルワーカーに対する市独自の支援策の実施
- ▼オンラインによる相談の実施など

民間と連携して市の課題解決や新たな価値の創造へ職員の意識改革の必要性などを提案



オンラインを活用し富田林市の事例を調査

今年度、私が委員長を務める総務常任委員会では「公民連携の推進について」をテーマに所管事務調査を実施しました。

公民連携とは、複雑多様化する社会課題に対し、公と民が連携してそれぞれの強みを生かすことで、課題の解決と新たな価値の創造につなげていくものです。

委員会では、枚方市の公民連携の現状や課題を委員間で共有し、理解や認識を深めることを目的に、枚方市の取り組み状況や、現時点での方向性などについて聴取するとともに、富田林市の産官学による公民連携の取り組みなど、他市の先進事例についてもオンラインを活用して調査に取り組んできました。

これらの調査を踏まえて、2月24日には委員間で意見交換を行い、そこで出された意見を一覧としてまとめ、今後、市に提出する予定です。

主な意見として、枚方市で公民連携事業を展開していく場として「公民連携プラットフォーム」という仕組みが

市民

きめ細やかな
サービスの享受
地域経済の活性化

三方良し

win-win
の関係

企業・大学

市民サービスの向上
まちの課題解消・
ブランド化

枚方市における公民連携の主な取り組み

- ▼シェアサイクルの展開(株オーシャンブルースマート)
- ▼スマート街路灯の運用(日本電気株)
- ▼スマートシティの推進に向けたデジタルキーの活用(株ピットキー)
- ▼コロナ禍における学生支援(株Review)
- ▼産前産後の保護者等向けオンラインセミナーの実施(江崎グリコ株)
- ▼東部地域活性化に向けたアンケートの実施(第一生命保険株)
- ▼子ども食堂のDX支援(株ワイヤレスゲート)など

構築されていますが、この仕組みの有効活用をはじめ、民間との連携に対する職員の意識改革の必要性や信頼関係の構築、明確な基準づくりなど、公民連携を進めていく上で必要となる課題が提案されました。

枚方市でも、自治体経営の有効な手段のひとつとして、公民連携に積極的に取り組んでいけるよう、引き続き提案を行っていきます。

12月定例月議会～国会に意見書を提出～

文通費の見直しを求める意見書を全会一致で可決 領収証の公開や残金の返金など透明性・公平性の担保を

国会議員に対して1ヶ月分で100万円が支給されている文書通信交通滞在費(文通費)については、昨年の衆議院選挙後に在職1日で1ヶ月分の100万円が支給されていたことをきっかけに、国民の関心が高まり、国会で制度の見直しについて議論が行われています。

文通費は、そもそも領収証の提出や使途を公開する必要がないため、国會議員が「自由に使えるお金 第二の歳費」として、以前からその問題が指摘をされていま

すが、国会では改革が進んでいない状況です。

枚方市議会では「収支報告書や1円以上の領収証の公開」「政治団体等への寄付の禁止」「残金の返金」など、文通費についても市議会の政務活動費と同様に透明性と公平性の担保が図られるよう制度の見直しを早急に求める意見書を、昨年12月定例月議会において、全会一致で可決し国会に提出しました。

かじや知宏 プロフィール

- 枚方市議会議員(現在2期目)
- 大阪維新の会枚方市議会議員団代表
- 総務常任委員会委員長
- 議会運営委員会委員
- 枚方寝屋川消防組合議会議員

経歴

昭和43年9月12日生まれ。
阪保育所、殿山第二小学校、第三中学校、牧野高校、龍谷大学文学部社会学科社会福祉学専攻を卒業。
(株)報知新聞社での11年間の勤務を経て行政書士に。
大阪府行政書士会綱紀委員、同企画広報部副部長、同枚方支部副支部長、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議理事、中司宏事務所政策スタッフ等を歴任。

かじや行政書士事務所代表、大阪府行政書士会枚方支部顧問、牧野高校同窓会校友会副会長等。
読書、スポーツ観戦(プロ野球、格闘技等)、神社仏閣巡り、観劇(宝塚歌劇団、ミュージカルなど)。

現在

趣味

市政に関するお問い合わせは

発行元 かじや知宏 〒573-0171 枚方市北山1-23-57
TEL 090-3705-9393 E-mail tomohiro@t-kajiya.com

大阪維新の会枚方市議会議員団

〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 枚方市役所本館4階
TEL 072-841-1221(代)

LINE公式アカウント

右のQRをスマートフォンやタブレットのLINEアプリで読み取り
「友だち追加」ボタンを押してください。

LINE
友だち登録をお願いします



駅前報告を行っています～660回継続中～

午前6:20頃～8:30頃に駅前で「議員報告」の配布を行っています。